

1 主な教育を取り巻く情勢の変化

- 深刻さを増す少子化・高齢化、グローバル情勢の混迷、生成AIなどデジタル技術の急速な発展などにより、社会・経済の先行きに対する不確実性はかつてなく高まっており、子供たちは激しい変化が止まることのない時代を生きることになる。

① 想定を上回るペースで進む人口減少

- 0～19歳人口推計
約44万人（2025年）→ 約35万人（2040年）

② グローバル化の進展

- 企業における労働力確保対策として、外国人労働者の受け入れが進み、県内在留の外国人とその子供の数が増加傾向

③ 急速に革新・普及が進むデジタル技術

- AIに代替されない能力や個性の伸長
- 多様な教育機会の確保が重要

④ 子供の多様性への対応

- 不登校児童生徒、発達障害の可能性のある児童生徒、医療的ケアを必要とする幼児・児童生徒、特定分野に特異な才能のある児童生徒など

- 将来の予測が困難な時代において、持続可能な社会を維持・発展させるためには、子供たち一人一人が自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら社会の様々な変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるための資質・能力を育成することが求められている。

2 次期「広島県 教育に関する大綱」の策定ポイント

- 「オール広島県」で「生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造することのできる人材」の育成を目指し、県民一人一人の夢や希望の実現を支える教育を展開する。

＜基本理念＞

広島ならではの学びを通じて、一人一人の個性や能力を見いだし、伸ばし、生きる力を育む

＜特に注力する視点＞

- 児童生徒の成長と発達を支える生徒指導
- リアルな体験の充実とデジタルの効果的な活用による学びの充実
- 持続発展する教育のための教員の育成

＜主な施策項目＞

特に注力する視点を踏まえ、以下の施策項目に取り組む。

※具体的な施策の内容は次頁に掲載

○ 学びの変革の推進（②、③）

- 質の高い、深い学びの実現
- 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

○ キャリア教育の推進（①、③）

- 系統的な指導の充実と学校全体での推進体制の構築
- 体験的・実践的な教育活動の充実

○ 誰もが安心して学習できる環境づくり（②、④）

- 学習指導と生徒指導の一体化
- 多様な子供たちに応じた教育の充実
- 学校における安全・安心の確保

○ 子供の学びを支える基盤づくり（①、③、④）

- 教職員の力を最大限に引き出す取組の推進
- 社会の変化を見据えた高等学校教育改革

<主な施策項目>

学びの変革の推進

- 「主体的な学び」の更なる推進（個別の知識・技能を相互に関連付けた、深い理解に至る質の高い学び）
- リアルな体験機会の充実（地域・産業界や社会教育施設等と連携した自然体験、伝統文化体験、職場体験活動・インターンシップなどの充実）
- 生成 A I 等に関わる教育の充実、情報活用能力の育成強化（情報技術の特性の理解、適切な取扱い、効果的な活用）

キャリア教育の推進

- 広島ならではのキャリア教育（広島県のものづくり等の産業、社会・生活基盤を支える仕事に触れながら、多様な体験・学びを積み重ね、人間関係形成・社会形成能力などの基礎的・汎用的能力を育成）

誰もが安心して学習できる環境づくり

- 学習指導と生徒指導の一体化の推進（生徒指導の実践上の視点（共感的な人間関係の育成、自己存在感の感受、自己決定の場の提供、安全安心な風土の醸成）を踏まえた学校づくり）
- 多様な観点からのニーズに対応した教育機会の提供（学習につまずいている児童生徒、不登校等児童生徒、特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援、外国人児童生徒に対する日本語指導等）
- 安全・安心の確保、教育相談体制の充実（教職員とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携・協働）

子供の学びを支える基盤づくり

- 教員の学校における働き方改革の更なる加速化
- 教職員のメンタルヘルス対策の一層の推進
- 校内での教育活動や校外での体系的な研修受講等による子供の主体的な学びの定着に向けた教員の専門性の向上
- 社会の変化を見据えた高等学校教育改革（デジタル技術を使いこなしながら生産性を高めて社会に貢献するエッセンシャルワーカー、理数系人材の育成などの産業イノベーション人材の育成、地域に愛着を持って地域の持続的な発展を支える人材の育成）